

なんでもご相談ください

毎月第2・4水曜午後4～8時 法務・会計無料相談会開催!! (専門家を招いています。ご予約ください)



これはこれからと 岡高志

大田区議会議員 (民進党) **岡 高志** 大田区レポート Vol. 27

決算特別委員会で、民進党会派を代表して総括質疑を行いました。

財政

23区で大田区だけ4年連続で100億円以上の収支差を計上。お金をただ余らせるのではなく、区民福祉の向上に努めるべきと主張しました。

詳しくはブログへ



築地

築地市場を大田市場に移転する提案をしたところ、反響を呼び、テレビ各局で取り上げられました。

TBS「ゴゴスマ」(9/15)
テレビ朝日「モーニングショー」(9/21)
TBS「ひるおび」(9/22)
テレビ朝日「グッドモーニング」(9/23)
など

跡地

大田区のビッグプロジェクト、羽田空港跡地第1ゾーン整備。このほど決定した整備手法と事業採算性について質問を行いました。



PICKUP 詳しくは裏面のコラムへ

介護

介護保険適正化のため、ケアプランの点検の重要性を主張しました。過剰なケアプラン、満足度の低いサービスなど、きちんと点検する。適正な介護事業を確保できるようにと求めました。

貧困

子どもの貧困が大きな話題。大田区でも今年から担当課を設置し対策を計画しています。特にひとり親家庭の貧困対策について、質問を行いました。

ブログはYahoo!
ニュースにも転載。



教育

3児のパパ岡高志は教育政策にもこだわります。今回は都立高校と中学校の連携が、子どもの貧困対策にも有意義、という観点で質問を行いました。



PICKUP 岡高志の活動は裏面へ

なんでも
ご相談
ください

<発行> 2016年11月1日 大田区議会議員 岡 高志 事務所
〒145-0061 大田区石川町2-16-8-302 <http://okatakashi.net>
電話: 03-6315-6209 E-mail: oka@okatakashi.net

法律のプロ!
行政書士

福祉のプロ!
社会福祉士

金融のプロ!
証券会社・
信託銀行に12年勤務

東京大学法学部卒業
3児のパパ 40歳



羽田空港の跡地利用

大田区のビッグプロジェクト、羽田空港跡地第1ゾーン整備の整備手法がこのほど固まりました。

土地区画整理事業として都市再生機構（UR）がインフラ整備を実施したうえで大田区が土地を取得。その一部(約6ha)は、50年間の定期借地契約を設定し、民間事業者が産業交流施設(平成32年度オープン目標)を建設します。

大田区は国から土地を購入し、**そのまま、超長期(50年)で民間事業者**に土地を賃貸します。国が直接民間事業者に賃貸するのでなく、**わざわざ**大田区が間に入るからには、土地の購入費用をカバーするだけでなく、少しでも財源が確保できることが納税者の立場として、強く求めます。

私の試算では、**大田区が土地を購入する費用は124億円**、つまり、

124億円 < 50年間の賃料の現在価値

が最低条件です。

ちなみに、やはり50年間の定期借地契約となる羽田空港跡地第2ゾーン4.3haは、住友不動産などが年額27億円で落札、ホテルなどを整備します。

大田区は、周辺の公園整備も行なっています。過去の歴史も踏まえ、大田区らしさが少しでも活かされ、羽田空港跡地第1ゾーン整備が成功するよう、有意義な提言を続けてまいります。



勝海舟ミュージアム

江戸城無血開城の立役者である勝海舟は晩年、大田区洗足池一带を別荘「洗足軒」として、居を構えていました。死後は富士山も望める当地のお墓に夫妻で眠っています。

そのお墓の隣接地に、勝海舟の偉業を顕彰する目的で、清明文庫という建物(土地1,000㎡、延床面積500㎡ほど)がありました。全く活用されないまま所有者が変わり、その後重要文化財建物として、大田区が購入することとなりました。

その際に、私は利用方法も決まっていなのに大金を投じることを批判した上で、勝海舟ミュージアムとしての整備を提起しました。自然豊かな洗足池公園の地に勝海舟が住んでいたという歴史を広くアピールすることは、洗足池の知名度を高めるとともに、地域の魅力を増進することになると考えています。

中身のある施設とするために、私は、勝海舟の子孫である、勝海舟家の第4代当主、勝芳邦さま(残念ながら今年54歳の若さでご逝去されました)にコンタクトをとりました。

教育

◎学校予算・ICT環境の充実

港区・品川区などの小学校を視察し、大田区の学校の設備の古さ、特にICT環境整備の遅れに強い危機感を持ちました。早急な整備を求めています。



電子黒板が常設されている港区の小学校

◎特別支援教育

都立城南特別支援学校を視察。細やかな教育およびケアの体制が整備されており、重度心身障害児に対して非常に有意義であると実感しました。

◎専門高校(人材育成)

全国で初のデュアルシステム科(生徒の中小企業でのインターン活動を単位認定。スムーズな就職にもつながります。)が設置された都立六郷工科高校を視察し、ものづくりを担う人材育成の有効性を実感しました。



中学校の進路指導に大きく位置づけたいです。

◎大学との連携(産学連携)

スイス連邦工科大学ローザンヌ校を視察し、産学連携の重要性についての認識を深めました。大田区は、東京工業大学と事業連携・協力の基本協定を締結しています。産学連携を深化させ

大学発ベンチャーが育つまち

「大田スプリングバレー構想」を

私は、提唱しています。



大学の同窓の縁で、突然の私の申し出に耳を傾けていただきました。勝海舟が後世の若者たちに伝えたい想いを表現できる施設にしたいと熱く議論をさせていただきました。

勝海舟という名前を顕彰することは必要ない。激動の明治維新の歴史だけではなく、外交とは何か、平和とは何か、そうしたものを子どもたちとも共有できる勝海舟ミュージアムにしたい、そのように語られていました。

大田区の検討委員会のメンバーにも就任していただき、施設の中身についても具体的にアドバイスいただきました。

そうした勝芳邦さまの想いも受け継いで、

平成30年12月には勝海舟ミュージアムがオープン予定です



完成予定図